

令和7年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課：教育委員会生涯学習部

0

スポーツ振興課

1. 基本情報

140205

施設名	伊丹市立ローラースケート場						
施設の設置目的	市民のスポーツ及びレクリエーションの振興と心身の健全な発達を図ることにより、市民福祉の増進に寄与する。						
伊丹市総合計画（第6次）における関連施策	政策大綱：育ち・学び・共生社会 施策：生涯学習・スポーツ 実施施策：生涯スポーツが楽しめる環境整備						
指定管理者の名称	伊丹市ローラースケート協会 (団体の住所又は所在地) 伊丹市北伊丹8-230-1						
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	公募	令和6年4月1日～令和9年3月31日					
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	施設利用者数 (単位：人)					
	指標の意味	管理施設の年間利用者合計					
	今年度の目標値	22,464	今年度の実績値	23,613			

2. 利用状況

利用状況等の推移		R2	R3	R4	R5	R6	R7 (通期)
	来館者数(人)		20,139	22,872	22,886	21,938	22,270
講座開催回数(回)		118	130	153	166	167	161

3. 経費情報

区分		令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	3ヵ年平均	
収入	使用料収入	5,541	5,780	6,103	5,808	
	事業収入	1,728	2,034	2,166	1,976	
	その他	0	2	8	3	
	指定管理委託料	3,440	4,085	3,477	3,667	
	①合計	10,709	11,901	11,754	11,455	
支出	維持管理	光熱水費	283	327	355	322
		清掃等委託料	0	0	0	0
		土地建物賃料	0	0	0	0
		修繕料	1,008	1,006	1,004	1,006
	運営	人件費	7,837	7,982	8,291	8,037
		事業等経費	2,900	2,645	3,245	2,930
		その他	0	0	0	0
		指定管理納付金	0	0	0	0
②合計	12,028	11,960	12,895	12,294		
純収支(①-②)	△1,319	△59	△1,141	△840		

		R2	R3	R4	R5	R6	R7
施設の管理運営に係る実質経費 (市の負担) ※ <単位:千円>	市の収入	0	0	0	0	0	0
	(内、使用料収入)	0	0	0	0	0	0
	市の支出	4,185	3,859	3,400	3,440	4,085	3,477
	(内、指定管理委託料)	3,400	3,400	3,400	3,440	4,085	3,477
	実質経費(歳出-歳入)	4,185	3,859	3,400	3,440	4,085	3,477

※施設建設・大規模改修等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的に行い、常に清潔に保たれているか。	B	場内や駐車場、周辺通路の清掃、草刈も定期的に行い、貸靴防具の整備点検、内外リンクの仮補修、ベンチの修理、高木伐採など維持管理を漏れなく進めている	B	場内は清掃が行き届いており、貸靴や防具についても常時清潔に保つことができるよう取り組まれている。利用者アンケートにおいても、「きれいに保たれている気持ちよかった」との声がある。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B			
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B			
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B			
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B			
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	A	入場者数に応じたスタッフ配置を行い、事故防止・熱中症対策に取り組んでいる。	A	人員配置は適切に行われている。夏場は施設内のテントやミスト等を活用し、利用者の熱中症対策に務めている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B			
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B			
	防災・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	緊急時の連絡体制をとり、避難訓練も行っている。	B	協会内において、緊急時でも円滑に連絡ができる体制が整えられている。
		避難訓練を実施しているか。	B			
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	ホームページがこの春全面刷新され、大変好評でこの春からスクール参加希望者が急増、同様スクールや木曜スクールの参加者も大幅に増えています。入場者数も増加傾向にあり、この流れを定着させるべくサービス向上に努めています。	A	サービス向上を目指した施設運営がされている。施設の全体的な満足度においては、利用者アンケートにて90%を超える利用者が「大変良い」「良い」と回答している。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B			
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B			
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B			
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	A	事業は計画通り実施できました。事業内容も日々見直し、顧客満足度向上に努めています。	A	年度当初の計画書どおり事業が実施されている。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B			
	個人情報保護・情報公開への取組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	個人情報の保護適正管理に努め、実施イベントの提供、公開を積極的に行っています。	B	ホームページについては全面的な刷新を行い、利用者の声やスクール事業の参加申込み数からもその効果が現れている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B			
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A			
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	年度計画に基づき、適正に実施し、監査も2名で随時適正に行っています。	B	月令・年間報告においても、適切な経理処理が行われている。
経理処理は、適切に行っているか。		B				

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「-」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	施設利用者数は、今年も酷暑の影響により夏場に大きく減少した。一方で、年間を通して見ると「22,613人」と過去3年間では最も多い利用者数となった。また利用者増の取組みとして、施設ホームページが全面的に更新された。その効果は、スクール事業の参加者募集において、定員を超えるWEB申し込みがあることや、施設利用者からの「ホームページを見た」との声が上がっていることから非常に大きいと言える。今後も、既存利用者へのサービス維持・向上と新規利用者の獲得へ積極的な運営に期待したい。
総合評価	B

「総合評価」欄の記号の意味

「A」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「A」＝良好である又は成果があった。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応 【実施期間】

令和8年3月15日

～ 令和8年3月15日

実施の有無	主な回答	主な対応
有	令和7年度下期アンケート調査結果参照。施設は清潔に保たれ、貸靴・防具も問題なく、スタッフの接客態度も好評で、顧客満足度も高い。利用者は10歳未満、10代、30代、40代(親子連れ)で87%、車での来場者が75%、伊丹市民30%となった。施設設備としては駐車場を増やしてほしい、屋根が欲しいとの声あり。たくさんの方から感謝の声が寄せられています。	「駐車場を増やして欲しい」という要望について、現状増やすことはできないため、どうしても足りない場合は緑ヶ丘体育館へ連絡し、駐車させていただく対応をしている。(緑ヶ丘体育館了解済み)
回答者数		
46名		

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置
特になし	特になし